生徒が主役 海青

２０２６年１０月３０日
学校便り　No.１２
文責：校長　渡辺 景輔
唐津市鎮西町横竹８３８番地９

【学校教育目標】

夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成

～生徒が主役の学校に～

今年度変更しました

文化発表会への温かいご支援、ありがとうございました！



１０月２５日（日）、「第１４回文化発表会」を開催しました。当日は、250 名を超える来賓、保護者、そして地域の皆様にご参観していただき、心より感謝申し上げます。子どもたちは、限られた短い練習期間の中、各学年とも工夫を凝らした見事なステージ発表や展示作品を作り上げてくれました。

今回の発表会を通して、子どもたちの大きな成長を見ることができ、大変うれしく思っています。この素晴らしい経験を、これからの学校生活や行事の成功へとつなげてくれることを期待しています。また、３年生にとっては、中学校生活最後の大きな学校行事となりました。今後は、それぞれの希望する進路実現に向けて、先を見通しながら一日一日の学校生活を送ってほしいと思っています。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



［音楽部］

人数が少ないということを感じさせない堂々とした、素晴らしい歌声でした。会場を一気に文化発表会の雰囲気にしてくれました。

［生徒会によるオープニング］

自分たちの練習や準備で誰よりも忙しい中、いつの間にこれだけの準備をしたのでしょうか。全校生徒が楽しめるよう工夫と優しさがあふれていました。



［1 年生ステージ発表］

1 学期から取り組んできた環境問題についての発表。これまで学んできた難しいテーマを、1 年生らしく明るく元気に表現しました。「自分たちにできることは何か」を、全校生徒が改めて考える、素晴らしいきっかけを作ってくれました。

［2 年生ステージ発表］

現代社会の問題点に深く目を向けた内容でした。情報があふれる世の中で、「事実を知るためには、まず自分で考えること。そして、それを正しく理解し、自分事として捉えること」の大切さを教えてくれました。





［3 年生ステージ発表］

修学旅行で訪れた広島を題材にした劇でした。「さすが 3 年生」という圧倒的な演技を見せてくれました。戦争という過酷な状況の中にあっても、力強く、懸命に生きた人たちがいた事実が迫真の演技から伝わってきました。「どんな困難な中でも、自分らしく生きていく。」3 年生が届けてくれたメッセージでした。